

平成29年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク講演会

《 来賓挨拶 》



■ 国土交通省大臣官房審議官 七尾英弘

皆様、こんにちは。ただいま御紹介いただきました国土交通省大臣官房審議官の七尾でございます。本日、日本海にぎわい・交流海道ネットワーク講演会が、ここ境港市におきまして盛大に開催されますことを心よりお祝いを申し上げます。

また、会員の皆様におかれましては、日頃より港湾行政に格別の御理解と御支援を賜っておりますことについて、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

私の名前は七尾でございますけれども、これは能登の地名でありまして、本日、七尾市からはいらっしゃってないかもしれませんが、父は石川県小松の出身でございます。私も結構年を重ねてまいりましたので、ずっと過去にさかのぼって調べてみようかなと思っております。そうすると、ひょっとして能登のほうに行き着くのかなと思っている次第でございます。

さて、日本海にぎわい・交流海道ネットワークですけれども、平成7年に設立されたというふうに承知しております。今年で23年となりますが、これまで港湾をコアとした日本海沿岸地域の連携や交流に御尽力をされてきました。

今後の当ネットワークの事業につきましては、本講演会前の総会で事務局からお話があ

りましたけれども、本ネットワークのより一層の発展を図るために、防災面、観光面等の具体的な事業目標を打ち出しておられます。それらを実現することによって、より強固な地域連携や交流活動を進めていただければと存じます。

活動の例であります。防災面では、国が所有する船舶を用いた複数港湾間の緊急物資輸送訓練等の実施による連携ですとか、観光面では、今年4月に日本遺産に認定となった北前船が寄港する各地の歴史、文化、観光情報の共同発信による地域振興の連携があると承知しております。さらには、大きなテーマとして、クルーズ活性化を掲げておられます。

本年6月に通常国会で成立いたしました改正港湾法ですが、これを活用し、官民連携のクルーズ振興を全国各地で私共が図ってまいりたいと考えております。

国土交通省といたしましても、当ネットワーク会員の皆様と一体となって、観光面、防災面等の連携を図ってまいりたいと考えております。加えて、国土交通省審議会では港湾の中長期計画として、この先20年、30年と長いスパンで、日本の港湾がどのようにあるべきかというものを考えているところでございます。国土交通省港湾局一丸となって、素晴らしいものに仕上げていきたいと思っておりますし、皆様とともに港湾の活性化に努めてまいりたいと考えております。

最後になりましたけれども、この講演会の開催に当たり、御尽力をいただきました境港市の中村勝治市長をはじめとした関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、御参加の皆様の御健勝と、日本海にぎわい・交流海道ネットワークの益々の発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。